

県南保健所感染症情報

令和8年 第 18 週

令和8年4月27日 ~ 令和8年5月3日

【発行元】長崎県県南保健所 地域保健課 TEL:0957-62-3289

◇◇定点把握の対象となる5類感染症 発生状況◇◇ (定点当たり患者数)

定点	疾病名	週別 発生状況						国・県・県南 発生状況						基準値		
		県南保健所						第 18 週						警報レベル		注意 報レ ベル
		16 週		17 週		18 週		全国		長崎県		県南保健所		開始	終息	
	インフルエンザ定点	0.40		0.40		0.20		0.41		0.16		0.20		30	10	10
	COVID-19	0.00		0.20		0.40		0.59		0.16		0.40				
	急性呼吸器感染症 (ARI)	22.00		22.40		27.40		57.69		60.20		27.40				
小児科 定点	RSウイルス感染症	4.00		4.00		0.67		0.44		1.32		0.67				
	咽頭結膜熱	1.00		0.33		0.67		0.33		0.90		0.67		3	1	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.67		6.00		7.00		3.21		4.03		7.00		8	4	
	感染性胃腸炎	0.00		0.00		0.00		4.94		3.65		0.00		20	12	
	水痘	0.33		0.00		0.67		0.38		0.81		0.67		2	1	1
	手足口病	0.00		0.00		0.00		0.38		0.48		0.00		5	2	
	伝染性紅斑(リンゴ病)	0.00		0.00		0.00		0.07		0.23		0.00		2	1	
	突発性発しん	0.33		0.00		0.33		0.33		0.29		0.33				
	ヘルパンギーナ	0.00		0.00		0.00		0.09		0.10		0.00		6	2	
眼科 定点	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0.00		0.00		0.00		0.04		0.10		0.00		6	2	3
	急性出血性結膜炎	0.00		0.00		1.00	警報	0.01		0.13		1.00	警報	1	0.1	
	流行性角結膜炎	2.00		4.00		1.00		0.38		0.63		1.00		8	4	
基幹 定点	細菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.02		0.00		0.00				
	無菌性髄膜炎	0.00		0.00		0.00		0.05		0.00		0.00				
	マイコプラズマ肺炎	0.00		0.00		0.00		0.18		0.00		0.00				
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	0.00		0.00		0.00		0.02		0.00		0.00				
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスであるものに限る)	0.00		0.00		0.00		0.08		0.08		0.00				

◇◇全数把握対象感染症 発生状況◇◇

※報告日掲載 (県作成速報:診断日掲載)

一類感染症	報告なし
二類感染症	報告なし
三類感染症	報告なし
四類感染症	報告なし
五類感染症	報告なし

◇◇トピックス・季節情報◇◇

☆国内で麻しんの報告が増加しています

麻しん(はしか)は、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。麻しんウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いと言われています。国内で麻しんの報告が増加しており、県内では長崎市において2例の報告がありました。

海外では、麻しんの流行が報告されている地域もあります。連休期間中に海外旅行をされた方は、帰国後2週間程度は健康状態に注意してください。

●長崎県地域保健推進課 「麻しん(はしか)について」

<https://www.pref.nagasaki.jp/doc/page-335206.html>

☆急性出血性結膜炎とは？

主としてエンテロウイルス70 (EV70) とコクサッキーウイルスA24変異株 (CA24v) の二つのエンテロウイルスによって引き起こされる激しい出血症状を伴う結膜炎です。突然の強い目の痛み、異物感、羞明などで始まり、結膜の充血、特に結膜下出血を伴うことが多く、眼瞼浮腫、眼脂、結膜濾胞、角膜表層のび慢性混濁が高頻度にみられます。全身症状としては頭痛、発熱、呼吸器症状などがみられます。潜伏期はEV70が平均24時間であるのに対し、CA24vでは2~3日とやや長い傾向にあります。通常、約1週間で治癒しますが、EV70では罹患後6~12カ月に四肢に運動麻痺を来すことがあります。注意が必要です。

感染予防には手指を石鹸で十分に洗うこと、タオルなどの共用を避けることが重要であり、ウイルスで汚染した器具や物品のは、煮沸や塩素剤(オーヤラックス、家庭用塩素系漂白剤など)を使用し消毒するように努めましょう。